

○浸水状況

平成25年台風18号に伴う大雨により、河川が溢水し、安祥寺川流域で、床上14棟・床下77棟、四宮川流域で、床上34棟・床下53棟の家屋浸水被害が発生した。また、安祥寺川から溢水した水が、京津線トンネルを経由して地下鉄線内に流入し、大規模な浸水被害が発生した。令和3年8月の大雨でも、同様に地下鉄線内に流入し、一時運休した。

○課題

河川の狭窄部（JR交差部等）からの溢水や河川の未改修区間における流下能力を超える溢水のほか、上流からの流木等による狭窄部での流下阻害が生じている。

これまでの取組

- ① 道路・河川パトロール、雨水ますの清掃
- ② 溢水被害軽減対策（護岸の嵩上げ、河床の切り下げ等）
- ③ 止水板の設置・訓練
- ④ 倒木処理
- ⑤ 山科三条雨水幹線の整備による内水の排除

浸水被害（R3.8）を受けての取組

- ① 「府市協調による安祥寺川及び四宮川の改修に係る政策協定」を締結（R4.1）
 - ・事業主体を「京都市」から「京都府」へ変更
 - ・市が200m、府が下流300mの「分割施工」から、府による全区間500mの「一体施工」に変更
 - ・「安祥寺川・四宮川整備推進室」を設置し、府市協調による事業体制を構築
- ② 【安祥寺川(JRアンダー付近)緊急連絡網を策定し、現場監視体制を強化（府京都市木・市東部土木・京阪電鉄・交通局）】
- ③ 関係者と連携した止水板設置訓練（令和4年6月2日）

今後の取組

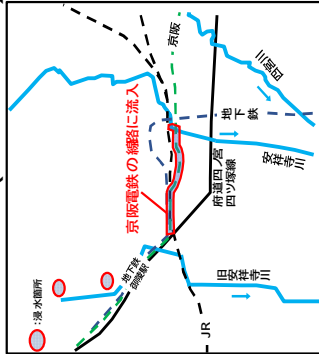
- ① 河川改修（安祥寺川、四宮川等）
- ② 流木対策（安祥寺川上流の砂防堰堤における「流木止め工」の設置）



止水板設置訓練（R4）



浸水被害の状況(京阪京津線)(R3)



浸水被害発生箇所(R3)

山科中部地域における雨に強いまちづくり

行財

建設

上下水

産観

○浸水状況

平成16年7月の大雨によって、竹田川が溢水し、床下浸水63棟及び道路冠水の被害が発生した。また、それ以降も大雨によって、道路冠水等が発生している。

○課題

河川の未改修区間における溢水のほか、水路の流下能力が不足している。

これまでの取組

- ① 道路・河川パトロール、雨水ますの清掃
- ② 浸水被害に関する情報共有
- ③ 土のうの配布、設置

浸水被害を受けての取組

- ① 竹田川の河川改修
- ② 農業用水路の取水口にゲートを設置
- ③ 雨水排水の増補管設置

今後の取組

- ① 竹田川の河川改修（R5完了予定）



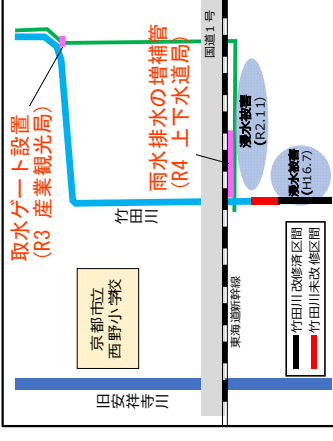
取水ゲート設置(R3)



(竹田川改修前)



(竹田川改修後)



竹田川溢水状況
(H16)

浸水被害発生箇所

桂川（嵐山地区）における雨に強いまちづくり

国

京都府

行財

建設

区役所

○浸水状況

平成25年台風18号に伴う豪雨によって、嵐山地区では、桂川の溢水により浸水家屋93棟、浸水面積約10haに達する被害を受けた。

○課題

桂川緊急治水対策により、桂川の治水安全度は向上したが、まだ、他の河川に比べ、治水安全度は低い。現在の景観や文化的価値への影響に配慮した、史跡・名勝である嵐山にふさわしい治水対策を検討。

これまでの取組

- ① 桂川緊急治水対策（H26～R1）
 - ・ 嵐山地区では、堆積土砂撤去、6号井堰撤去を実施
- ② 嵐山地区河川整備
 - ・ 令和3年3月に可動式止水壁の設置を完了
 - ・ 令和4年3月に景観に配慮した意匠工事を含めた左岸溢水対策工事が完了
⇒可動式止水壁の操作は、国から委託を受け、京都市で実施（R3.5～）
【稼働実績】 R3：3回、R4：1回
- ③ ソフト対策
 - ・ まるごとまちごとハザードマップの設置
 - ・ 嵐山地区タイムラインの策定

今後の取組

- ① 嵐山地区河川整備
 - ・ 一の井堰改築
 - ・ 派川改修
- ② ソフト対策
 - ・ 嵐山地区タイムラインによる情報共有



可動式止水壁 稼働状況



浸水被害の状況(渡月橋)(H25)



嵐山地区河川整備 概要図

※淀川水系河川整備計画 抜粋